

CASBEE柏2014年版
(仮称)東京ベッド株式会社 工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE柏2014(v.1.22)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 騒音						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温						
2 外皮性能						
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境						
3.1 屋光利用						
1 屋光率						
2 方位別開口						
3 屋光利用設備						
3.2 グレア対策						
1 屋光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質						
2 アスベスト対策						
4.2 換気						
1 換気量						
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.44			3.2
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
3 衛生管理業務						
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:長尺塩ビシート(20年)、壁:ビニルクロス(20年)、天井:化粧PB(30年)	5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:硬質塩化ライニング鋼管(B)、排水管:硬質塩化ビニル管(B)、給	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20			

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.50			3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30			
1	階高のゆとり	階高5.40m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	0.1 < 壁長さ比率=0.115 < 0.3	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.56			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.3
LR1 エネルギー			-	0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.42	5.0	0.03			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.87 住宅(専有部) -	4.1	0.60			4.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.87	4.1	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
4 効率的運用			2.0	0.24			2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			1.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1 モニタリング			3.0	-			
4.2 運用管理体制			-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.4
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		自動水栓、泡沫水栓の採用+節水型大、小便器の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60			3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		エコマーク(商品類型123)取得の壁紙、外壁、屋根断熱材、ビニル床	5.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材 分別が容易	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)		グラスウール(発泡剤無)断熱材使用	5.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=93%、運用時CO2排出量の抑制	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮			2.8	0.33			2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動			-	-			
3 悪臭			-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制			1.0	-			
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			